

『大学教育とSFC』

岡部 光明 著 西田書店 1300円 (2000年10月)

本書は総合政策学部教授岡部光明氏が最近1年間に綴った文章や草稿をまとめたものである。SFCのみならず、広く大学・教育一般のあり方についても、著者の客観的な視点と豊富な経験を基に鋭い問題提起が行なわれている。また、岡部氏の専門である金融問題に関しても一章設けられている。

特に本書の魅力として注目したいのは、SFCの教員によってSFCの良さや問題点、そしてこれからの取り組みについて言及されていることだろう。これまでSFCに対する外部からの評価とSFCの実態との間にずれがあることは少なくなかった。しかしながらSFC外部の人は本書を読むことで、外からでは見えにくいSFCの実態を垣間見ることができるだろう。例えば、『問題発見・解決教育』三つの誤解』や「SFCの学生に対する成績

評価』や「SFCの課題」等について知ることができる。

またSFC内部の人は、日頃キャンパス生活の中で無意識的に感じながらも気付かずにいた不便さや、改善すべき事柄を意識化する契機となるだろう。教育機関としてのSFCに対する問題提起のエッセンスが凝縮された1冊である。

